

<b>家族福祉論</b>
--------------

《担当者名》片山寛信 katayama@hoku-i-ryo-u.ac.jp

**【概要】**

対人援助の仕事に携わるとき、対象となるクライアントとその家族の理解は必要不可欠となる。個人や社会の構成単位としての家族を理解するために、家族研究の基礎理論やデータをもとに現代社会の家族について社会学、家族関係学の視点から考える。

**【学修目標】**

専門職として多様な家族への援助を考えるために、家族内の問題を社会的要因との関連で理解することができる。  
多様な家族への支援方法を知る。

**【学修内容】**

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 家族とは何か	受講上の諸注意を理解する 日本の家族・世界の家族。「家族」に関する価値観の違いを理解する	片山
2	家族のイメージと実像	家族のイメージ、家族の定義について理解する	片山
3	社会構造と現代の家族	前近代の家族から近代家族の変容について理解する	片山
4	父になること母になること 1	多様な親子関係のあり方について知る	片山
5	父になること母になること 2	多様な親子関係のあり方について検討する	片山
6	妊娠出産と子育て	生殖技術の変化と妊娠について理解する 育児休業について理解する	片山
7	ジェンダーと家族	夫妻関係とジェンダー 結婚という選択とジェンダー 子育てとジェンダー について理解する	片山
8	家族が抱える課題	青年期における家族の課題について理解する 子どもの人権と子ども差別について理解する	片山
9	家族への支援 1	家族を支援する上で方法論について理解する ファミリーグループカンファレンスについて理解する	片山
10	家族への支援 2	事例を基に、家族の状況を把握する能力を身に着け、 アセスメントと家族支援の展開方法について理解する	片山
11	結婚と多様な形の家族	結婚の意味と社会の変化について理解する	片山
12	こども家庭支援の実際(1)	身近な自治体の取り組みを理解する(市区町村子ども家庭総合支援拠点・子育て世代包括支援センター・要保護児童対策地域協議会) 身近な自治体の子ども家庭支援について、自治体が表示資料やデータから考察を行い、担当者へのヒアリング内容を検討する	片山
13	こども家庭支援の実際(2)	身近な自治体の取り組みを理解する 身近な自治体の子ども家庭支援について、担当者へのヒアリングを行う	片山
14	こども家庭支援の実際(3)	身近な自治体の取り組みを検証する 当別町の子ども家庭支援について、担当者へのヒアリング結果をまとめる	片山
15	新たな家族支援を考える まとめ	家族支援に求められる新たなプログラムについて検討できる 助成金やクラウドファンディングの申請書が作成できる	片山

**【授業実施形態】**

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

**【アクティブ・ラーニング】**

導入している

**【評価方法】**

参加態度 30% 課題レポート 40% 最終課題レポート 30%

**【教科書】**

よくわかる現代家族 第2版 神原文子 杉井潤子 竹田美和編著 ミネルヴァ書房

**【参考書】**

問いからはじめる家族社会学 岩間暁子 大和礼子 田間泰子 有斐閣ストゥディア  
入門家族社会学 永田夏来 松本洋人 編著 新泉社

**【備考】**

この科目は、教職課程（公民）では、教科に関する科目の「社会学、経済学（国際経済を含む。）」に該当する。

**【学修の準備】**

**【予習】（2時間）**

次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。  
不明な点について文章化しまとめておく。

**【復習】（2時間）**

授業内容についてまとめ、考察を行う。  
不明点がある場合は、教員に質問するなどの対応を行い、解決しておく。

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

**【実務経験】**

社会福祉士

**【実務経験を活かした教育内容】**

児童養護施設，障害者（児）相談支援事業所におけるソーシャルワーク実践の経験を生かした教育を行う

**【その他】**

この科目は主要授業科目に設定している